

# 家での危ない場所！

## ～水まわり編～

水の事故といえばプールや海を思い浮かべるかもしれませんが、小さいお子さんの場合は家の中での事故が多いです。10 cm程の深さの水でも溺れてしまいます。

### お風呂場



浴室には色々な危険が潜んでいます。お子さんが勝手に浴室に入った場合、浴槽は深さがあるので中を覗き込み、頭から転落する危険があります。浴槽に水が溜められていれば、更に溺れることが考えられます。浴槽に蓋がしてある場合でも蓋の上によじ登り、そこから転落することが考えられます。

石鹼や掃除用洗剤なども置いてあり、誤飲すると危険です。浴室には外カギを付け、子どもが一人で中に入れないようにするのが安全です。



大人と一緒に入浴中でも、大人が洗髪などで目を離れたすきに溺れる事故が起きています。声を出さずに静かに溺れていて、気づくのが遅れることがあるので、洗髪や洗顔で眼が離れるときは、浴槽から子どもを出しておくのが安全です。

また、浴室使用中は床が濡れているので滑りやすいです。転倒にも気を付けて下さい。シャワーなどの温度調節器も注意です。お子さんが知らないうちに触り、温度が上がっていて火傷した！ということもあります。追い炊きやシャワーの前には温度を確認しましょう。



## 洗濯機

洗濯機に子どもが入り、窒息する事故が起きています。また、つけ置きなどで水を貯める場合、溺れる危険もあります。使っていない時でもふたを閉め、チャイルドロック機能で開けられないようにしましょう。

洗濯機の周囲に、足台になりそうな物を置くのも避けましょう。のぞき込みやすくなります。

洗濯洗剤や漂白剤などは誤飲すると危険なので手の届かない所に置きましょう。



## トイレ

清掃用の洗剤や消毒剤、芳香剤などを置いてあるかと思えます。誤飲すると危険ですので、手の届かない所に片付けましょう。

浴室と同様に便器には水が溜まっています。口と鼻が水につかると、少量でも溺れてしまいます。のぞき込んだ拍子に頭から落ち、溺れることがあります。

便器の蓋は必ず下げておきましょう。外から開閉できる鍵をつけ、勝手にトイレに入れないようにしておく安全です。



## 洗面所

石鹸や歯磨き粉などは誤飲すると危険です。手が届かない様にしましょう。使用後のカミソリや歯ブラシなどを子どもが手に取り、怪我する事故も起きています。使用したらすぐに片付けましょう。

洗面所の下に洗剤やストック歯ブラシ、かみそりなど置かれている場合は置き場所を換えたり、開けられないよう引き出しにストッパーを付けるのが安全です。

